



しあわせ信州

学び応援キャラクター「信州なび助」  
©長野県教育委員会信州なび助

【長野県教育の目指す姿】

# 個人と社会のウェルビーイングの実現

～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～

---

## 第4次長野県教育振興基本計画

# 第4次長野県教育振興基本計画

- 令和5年（2023年）3月策定
- 計画期間：令和5年度～令和9年度  
（2023年度～2027年度）
- 「しあわせ信州創造プラン3.0」  
（長野県総合5か年計画）に対応  
する教育分野の個別計画



# 長野県教育を取り巻く状況

## 社会背景・情勢

- VUCAの時代
- 多様化の時代
- 人口減少・少子高齢化時代

## 現状と課題

- 予測困難な未来を生きる資質能力の必要性の高まり
- 子どもが抱える困難の多様化・複雑化
- 人口減少下における学びの場や質の保障

## 今後の方向性

- 探究的な学びによる新しい価値や時代を創造する資質能力の育成
- 誰一人取り残されない学びの提供
- 多様な他者との関わりを通じた地域の拠点としての学びの場づくり

# これからの長野県教育のあり方

ますます変化が激しく予測が困難で唯一の正解が無くなっていくこれからの時代においては、一人ひとりが、他の誰でもない自分の個性や可能性を認識するとともに、多様な他者を尊重し、協働しながら持続可能な社会を創っていくことが必要

未来を担う子どもたちのみならず全ての人が、今、そして将来にわたって、学ぶことそのものに喜びを感じ、自分の学びや人生、そして社会変革の当事者になっていく、そのような学びの場を創ることが、個人と社会のウェルビーイングの実現へ

- 一律一様の教育から「個別最適な学び」への転換と、多様な他者との対話や協働等による「協働的な学び」の一体的な推進
- 一人ひとりが多様な幸福を追求し、新しい価値やよりよい社会を創造する力を育む

## 個人と社会のウェルビーイングの実現

～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～



- 短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含み、また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念
- **個人のウェルビーイング**：多様な個人の存在やいのち、人権や個性が当たり前で尊重される中で、自分らしく生きることにより実現
- **社会のウェルビーイング**：一人ひとりが身に付けた知識や技術を最大限に活用し、自ら主体的に考え、他者と協働しながら、当事者（自分ごと）として社会を創り上げていくことにより実現

すべての学びの場を、子どもも大人も共に学び、ウェルビーイングを追求し実現できる場へ！

# 長野県教育の目指す姿

～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～

個人と社会のウェルビーイングを実現するためには

自ら課題や問いを見出し、その解決を目指して、仲間と協働しながら新たな価値を創造したり、一人ひとりが自分の“好き”なこと、“楽しい”こと、“なぜ”と思うことに没頭追求する「探究」が重要



## ～「探究県」長野の学び～

- 公民館や図書館の数が多く、「全人教育」「子どもたちへの信頼に基づく教育」「学習者主体の教育」を大切にしてきた長野県には、すべての世代が主体的・協働的に学ぶ、「教育県」としての風土と県民性があります。
- これらの伝統を継承し、子どもも大人もこれからの時代を自分らしく生き、共に学び、探究し、自分たちが望む未来を実現していく、そのような長野県でありたいという願いを込めています。

# 目指す姿を実現するための4つの政策の柱

## 「個人と社会のウェルビーイングの実現」に向けて

### 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

- 1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる
- 2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる
- 3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる
- 4 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる

# 政策の柱 1 一人ひとりが主体的に学び他者と協働する学校をつくる

- デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化
- 探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上
- 教員のウェルビーイング向上のための働き方改革
- これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進
- 信州教育の魅力向上・発信

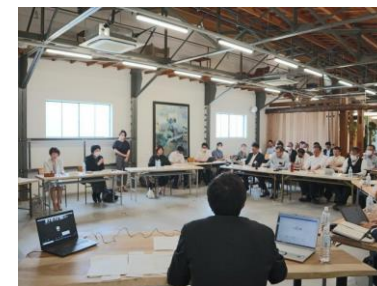


第1回（2021年）デジタル社会推進賞  
デジタル大臣賞プラチナ賞（最優秀賞）受賞  
長野県立坂城高校・長野県教育委員会



1人1台端末やAI（人工知能）活用型学習アプリなどデジタル学習教材を活用して、「個別最適な学び」と「地域連携型探究活動」に取り組んだ結果、生徒の学力や探究力、主体性の向上に成功

生徒や地域の期待に応える特色ある県立高校とするため、「特色ある県立高校づくり懇談会」を開催（令和5年度計5回開催予定）





## 政策の柱2 一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくる

- 子どもの権利・安全の保障
- 多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化
- インクルーシブな教育の一層の推進
- 一人ひとりの特性に応じた学びの追求
- 福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援



長野県特別支援教育ICT・ATリソースセンターを県内2か所にオープン  
(令和5年10月)



【重度重複障がいの生徒が「視線入力装置」を用いて絵をかいている様子】

障がいのある児童生徒が、自分にあったICT・ATの活用を通して、より豊かな学校生活を送ることができるよう支援

※AT：アシスティブ・テクノロジー  
障がいによる物理的な操作上の困難や障壁を機器を工夫して利活用することで改善・克服する支援技術

# 政策の柱3 生涯にわたり誰もが学び合える地域の拠点をつくる

## ➤ 共学共創による地域づくり

### 地域とともに進めるこれからの学校づくり「長野県スクールデザインプロジェクト」による新たな学校・共学共創空間



学校と企業等との連携を推進し、生徒のニーズに応じた探究学習の環境を整備するとともに、学校を社会に開かれた魅力ある学びの拠点とするため、連携コーディネーターを県立高校2校に配置

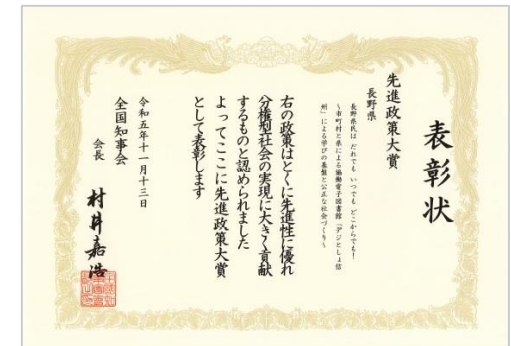
## ➤ 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり

### 市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」(R4.8～)

- ・ 県内全市町村と県が協働して電子図書館を導入するのは全国初の取組
- ・ 県民は、いつでも、誰でも、どこからでも無料で利用可能



一般社団法人プラチナ構想ネットワーク  
「第11回プラチナ大賞」(R5.11)  
「優秀賞 地域パートナーシップ賞」受賞



全国知事会「先進政策バンク」(R5.11)  
「令和5年度 先進政策大賞」受賞  
「デジタル・ソリューション・  
アワード大賞」受賞

# 政策の柱4 文化芸術・スポーツの身近な環境を整え、共感と交流が生まれる機会をつくる

## ➤ 文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実

地域全体で中学生の多様なスポーツ・文化活動の機会を確保するため、部活動指導員の確保や持続可能な運営に向けた体制整備等を支援



運動部活動指導者を対象とした研修会の開催、アスレチックトレーナーやトップアスリート等の指導者の派遣を実施  
(R4は12人派遣)



博物館・美術館の数  
341館 日本一

(文部科学省『令和3年度社会教育調査』)



長野県立美術館

## ➤ 「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の成功に向けた準備の実施、競技力向上

2028年の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の成功のため、市町村や競技団体、経済関係団体等で組織する準備委員会を随時開催し、大会開催に向けた準備を計画的に実施



行こう。それぞれの頂へ。



信州やまなみ国スポ・全障スポ

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会

長野県PRキャラクター  
「アルクマ」  
©長野県アルクマ